中学校１年【国語】『新編　新しい国語１』（東京書籍）　（例）

教科書を活用した家庭学習例～計画的な家庭学習へ向けて～

|  |  |
| --- | --- |
|  | 課題内容 |
| 第１回 | 【単元名】「風の五線譜（詩）」　【ページ】表紙裏  【学習の流れ】  １　題名からイメージしたことを、ノートに書く。  ２　詩を繰り返し音読して、気に入った表現や意味が分からない言葉に線を引く。  ３　気に入った表現や意味が分からない言葉は、辞書などを使って調べ、ノートやワークブックに書く。  ４　作者が詩を通して伝えたいことと、それに対する自分の考えをノートに書く。  ５　４で書いたことを踏まえて、読み方を工夫して詩を音読する。  【学びの確認】  ・第２回の学習終了後、まとめて行います。 |
| 第２回 | 【単元名】言葉を楽しむ「詩の心―発見の喜び」  【ページ】２４～２８ページ  【学習の流れ】  １　題名と、本文の最後の段落を確認する。  ２　全文を音読し、読めなかった漢字は、教科書本文の右側にふりがなを書く。  　意味が分からない語句は、辞書で調べる。  ３　三編の詩（雲、虫、土）の「詩の心」や「発見の喜び」について書かれていると思う部分に線を引きながら読み、要点をつかむ。  【学びの確認】  ・学習を踏まえて、１７ページの「チューリップ」の詩に表されている発見や表現の工夫をノートにまとめましょう。  ・ワークブックなどを解きましょう。 |
| 第３回 | 【単元名】言葉を楽しむ「学びの扉１　鮮やかに表現する」  「学びを支える言葉の力　鮮やかに表現する」  【ページ】２９ページ、２４５～２４７ページ  【学習の流れ】  １　２９、２４５～２４７ページを読む。  ２　描写について、ノートにまとめる。  ３　表現技法について、ノートにまとめる。  【学びの確認】  ・２４７ページの「練習しよう」に取り組み、解答をノートに書きましょう。 |
| 第４回 | 【単元名】言葉を楽しむ「小さな発見を詩にしよう」  【ページ】３０～３１ページ  【学習の流れ】  １　本文を読み、詩の創作の仕方を知る。詩を創作する上で、大切だと思ったところには線を引く。  ２　自分が最近体験したことや身近で見かけるものと、それについての小さな発見をノートに書く。  ３　２で書いたことを、詩にする。その際、２４６ページの表現技法の中から１～２程度使ってみる。  ４　詩を音読する。  【学びの確認】  ・自分の詩の解説をノートに書く。自分が感じたことや発見したことと、それを伝えるために工夫した表現技法を書きましょう。 |